

横浜市教育振興基本計画 ～平成23年度 期末振り返り～

特に力を入れた取組

東日本大震災を受けた対応

- ・横浜市学校防災計画の見直しと、それに伴い各学校の実態に応じた学校防災マニュアルの見直しを行いました。また、体育館や学校施設における非構造部材の現状を把握するための調査を実施しました。
- ・6月から学校給食食材の放射性物質について毎日1検体の測定を開始しました。10月からは毎日小学校1校の給食で使用する十数種類の食材全ての検査を行うこととしました。測定結果はホームページで迅速に公表しました。
- ・被災地支援の一環として、新採用者も含めた教員を中心とした支援隊を石巻市に派遣(8月1日～12日)し、子どもたちへの学習支援を行いました。(派遣教職員及びスタッフ:1,149名、参加児童生徒数:延べ7,745名)

横浜型小中一貫教育の推進

- ・「横浜版学習指導要領」に基づいて9年間を見通したカリキュラムを編成(全中学校)・実施(全小学校)しました。また、小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研究会は、134ブロック(94%)で実施しました。

中高一貫教育校の設置に向けた事業の推進

- ・24年4月に、本市初の公立中高一貫教育校、南高等学校附属中学校を開校しました。(第1期生の志願者の競争率:11.04倍)

| 【主な事業・取組】 | 【目標・取組内容】 | 【達成状況】 |
|--|---|--|
| 目標1 「知」「徳」「体」「公」「開」で示す“横浜の子ども”を育みます | | |
| 重点施策1 横浜らしい教育の推進 | | |
| ●横浜型小中一貫教育の推進 | | |
| 「横浜版学習指導要領」に基づくカリキュラムの編成と実施 | ・小学校でカリキュラムの実施 ・中学校でのカリキュラムの編成 ・「授業改善ガイド・単元づくり(仮称)」を作成し、カリキュラムマネジメントを推進 | ・予定どおり実施 「授業改善ガイド・単元づくり」を作成 |
| 小中一貫教育推進ブロックにおける合同授業研究会の実施 | ・全142ブロックのうち86ブロック(60%)以上のブロックで実施 | ・134ブロック(94%)で実施 |
| 幼稚園・保育所と小学校の円滑な接続のためのスタートカリキュラムの実施 | ・全小学校で実施 | ・273校(79%)で実施 |
| ●豊かな体験を通じた学習の推進 | | |
| 環境教育実践推進校の指定と情報発信 | ・環境教育実践推進校12校(継続9校 新規3校、累計35校)指定 ・実践報告集作成・配布 | ・予定どおり実施 |
| 中学校における職業体験プログラム(職場体験、職業講話)の実施 | ・職業体験プログラムを74校(50%)で年2日以上実施 | ・職業体験プログラムを135校(91%)で年2日以上実施 |
| 重点施策2 確かな学力の向上 | | |
| ●「横浜市子ども学力向上プログラム」に基づく学力の向上 | | |
| 「学力向上アクションプラン」の策定 | ・全小中学校及び特別支援学校で「学力向上アクションプラン」を策定し、各校で取り組み | ・全小中学校及び特別支援学校で実施 |
| 授業力向上推進校(学力向上推進校)の指定及び研究成果の発信・共有 | ・授業力向上推進校(学力向上推進校)35校指定 ・研究成果をまとめ、発信 | ・学力向上推進校49校指定(小学校36校、中学校12校、小中学校1校) ・研究の成果については、シンポジウムやフォーラムで発表。 HP(YYネット)に掲載し情報を発信。 |
| 「はまっ子学習ドリル・検定システム」の運用 | ・運用開始(算数・数学 5月、国語 7月) ・石巻子ども学習支援隊で活用(8月) | ・予定どおり実施 |
| ●言語力の育成 | | |
| 「言語活動サポートブック」の活用 | ・「言語活動サポートブック」の内容を見直し、増補版を出版して全市立学校に配布 | ・全小中学校及び特別支援学校に配布 |

| 【主な事業・取組】 | 【目標・取組内容】 | 【達成状況】 |
|---|--|--|
| ●理数教育の推進 | | |
| 小学校への理科支援員の配置 | ・100校に配置(うち市費15校) | ・予定どおり実施 |
| ●ICT活用能力と情報モラルの育成 | | |
| 教員のICT活用指導力を高めるための研修の実施 | ・教員のICT活用指導力75% ・夏季・派遣研修の実施、校内研修の支援 ・指導事例等の情報発信 | ・教員のICT活用指導力70.3%(速報値) ・夏季(38講座)・派遣研修(95校)の実施、校内での取組目標の作成 ・ICT活用授業実践事例集の発信 |
| 重点施策3 豊かな心の育成 | | |
| ●『『豊かな心の育成』推進プログラム(仮称)』の策定と取組の推進 | | |
| 『『豊かな心の育成』推進プログラム(仮称)』の策定 | ・策定(24年3月) | ・予定どおり実施 |
| ●道徳教育の推進 | | |
| 道徳教育推進教師に対する研修の実施 | ・年3回実施 | ・予定どおり実施 |
| ●人権教育の推進 | | |
| 人権教育のための全体計画の作成 | ・人権教育実践推進校のうち指定2年目の17校で作成 | ・予定どおり実施 |
| ●いじめや不登校などへの対応と教育相談体制の充実 | | |
| 小学校への児童支援専任教諭の配置 | ・140校に配置 | ・予定どおり実施 |
| 「登校支援アプローチプラン(個別支援計画)」の作成 | ・全小中学校で作成 | ・登校について個別支援が必要と判断される児童生徒が在籍している全小中学校で作成 |
| 重点施策4 健やかな体の育成 | | |
| ●「体力アップよこはま2020プラン」に基づく体づくり | | |
| 「体育・健康プラン」の作成 | ・全小中学校で作成 | ・全小中学校で作成 |
| ●食育の推進などによる健康な体づくり | | |
| 食育実践推進校の取組や地域の連携を生かした、各学校における食育の推進 | ・新たに食育実践推進校の指定(8校)と実践提案(4校) ・「食育出前授業」等、地域の教育力を生かした食育推進 ・食育シンポジウム・教育実践フォーラム食育分科会の開催 | ・予定どおり実施 |
| 重点施策5 特別なニーズに対応した教育の推進 | | |
| ●特別支援教育の推進 | | |
| 一般学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の「個別の指導計画」の作成 | ・一般学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒の60%に対して作成 | ・79%に対して作成(小中学校) |
| 「自閉症の特性に応じた支援・指導」(仮称)リーフレット作成 | ・作成と全市立学校への配布(24年3月) | ・予定どおり実施 「自閉症教育 理解・啓発パンフレット」作成及び全市立学校への配布 |
| 特別支援学校の教育環境の整備 | ・新治特別支援学校の移転整備及び知的高等部の設置に向けて、工事着手(24年1月) ・中村特別支援学校の再整備計画の策定(8月) | ・予定どおり実施 |
| 通級指導教室の再編・整備 | ・3教室(情緒1、言語2)整備(計29教室) | ・予定どおり実施 |
| ●日本語指導が必要な児童生徒への支援 | | |
| 国際教室担当教諭指導研修の実施 | ・年間10回以上実施 | ・16回実施 |

| 【主な事業・取組】 | 【目標・取組内容】 | 【達成状況】 |
|--|--|---|
| 重点施策6 魅力ある高校教育の推進 | | |
| ●特色ある高校づくり | | |
| 中高一貫教育校の設置に向けた事業の推進 | ・教育課程編成(通年)、学校説明会(7月)、志願説明会(10～11月)、適性検査(24年2月) ・施設改修等(通年) ・開校(24年4月) | ・予定どおり実施 横浜市立南高等学校附属中学校を開校(24年4月) |
| 専門コースの設置準備 | ・基本構想の検討 | ・予定どおり実施 |
| 横浜総合高校の移転整備と教育内容の見直し | ・実施設計(24年3月) ・多部制定時制検討委員会の実施(6月～9月) ・教育内容の見直し公表(24年3月) | ・実施設計(24年3月末) ・多部制定時制検討委員会の実施(23年6月～9月、4回)、提言書の提出(23年11月) ・教育内容の見直し検討(24年3月)、公表は24年6月予定 |
| ●選ばれる高校づくり | | |
| 横浜市立大学など教育連携協定締結大学との連携事業の実施 | ・連携事業の実施(連携事業を行う高校 新規1校、計4校) | ・予定どおり実施 |
| 目標2 誇りや使命感に満ちた信頼される教職員を確保・育成します -尊敬される教師- | | |
| 重点施策7 優れた人材の確保 | | |
| ●総合的な人材確保策の展開 | | |
| 採用における取組の充実 | ・新たに福岡県で教員採用試験(一次試験)を実施(7月) | ・予定どおり実施 |
| 「よこはま教師塾」による教員の確保・養成 | ・募集校種及び募集人数の拡大、実施期間などを変更し、よこはま教師塾「アイ・カレッジ」として開講(10月) | ・予定どおり実施 |
| 重点施策8 教師力の向上 | | |
| ●教職員の資質能力の向上 | | |
| 教職員研修におけるPDCAサイクルの確立 | ・効果測定などによる次年度の研修の構築 | ・予定どおり実施 |
| 授業改善支援センターの利用促進 | ・講座内容や相談体制等の充実 ※利用者数は23年度で26年度の目標(16,000人)を達成見込み | ・予定どおり実施 ※利用者数 15,402人 |
| ●教職員の心の健康づくり | | |
| 出張カウンセリングの実施 | ・100校で実施 | ・予定どおり実施 |
| 目標3 学校の組織力を高め、信頼される学校を目指します -信頼される学校- | | |
| 重点施策9 学校の組織力の向上 | | |
| ●校長、副校長のマネジメント力の向上 | | |
| 「横浜市立学校管理職人材育成指針」に基づく管理職研修の充実 | ・副校長経験年数に応じた副校長研修の実施(通年) | ・予定どおり実施 |
| ●学校のチーム対応力の強化 | | |
| 小中学校をサポートするための非常勤講師の配置 | ・150校に配置 | ・予定どおり実施 |
| 小中学校へのアシスタントティーチャーの派遣 | ・200人派遣 | ・予定どおり実施 |
| 学校教育事務所へのスクールソーシャルワーカーの配置 | ・新たに4方面の学校教育事務所へ2人ずつ配置し、学校と関係機関とのネットワーク構築の支援、児童支援専任教諭や生徒指導専任教諭などへ助言 | ・予定どおり実施 |
| ●学校評価の充実 | | |
| 学校評価の充実・改善 | ・実践研究校による第三者評価の試行結果などを踏まえ、「横浜型第三者評価」制度を構築、全市立学校へ周知(24年3月) | ・予定どおり実施 |

| 【主な事業・取組】 | 【目標・取組内容】 | 【達成状況】 |
|--|---|---------------------------------|
| 重点施策10 適確・迅速・きめ細かな学校支援 | | |
| ●学校教育事務所による学校支援 | | |
| 指導主事による教育活動の支援 | ・「授業訪問」を重視した適確できめ細かな学校支援(通年) | ・予定どおり実施 |
| 学校課題解決支援チームの派遣 | ・派遣(通年) | ・予定どおり実施 |
| 目標4 家庭・地域・学校が連携し、子どもの成長を支えます | | |
| 重点施策11 家庭教育への支援 | | |
| ●親の学びの支援 | | |
| 「はまっ子家庭教育応援BOOK」の配布 | ・次年度新1年生に配布(24年2月) | ・予定どおり実施 |
| 重点施策12 地域と学校との連携 | | |
| ●地域の教育力を生かした学校運営の支援 | | |
| 学校運営協議会の設置 | ・80校指定(24年4月1日) | ・予定どおり実施 |
| 学校・地域コーディネーターの配置 | ・新規22校(計88校)に配置 | ・新規44校(計107校)に配置 |
| 地域交流室の設置 | ・新規25校(計276校)に設置 | ・予定どおり実施 |
| 横浜教育支援隊の登録・活用 | ・活用方策について検討 | ・各学校のボランティア情報を教育支援隊の人材データベースに統合 |
| 目標5 子どもの教育環境を整備するとともに、市民の学習活動を支援します | | |
| 重点施策13 教育環境の整備 | | |
| ●より良い教育環境の整備 | | |
| 「学校施設長寿命化計画(仮称)」の策定と推進 | ・計画策定(24年3月) | ・予定どおり実施 |
| 学校空調設備の設置 | ・58校の普通教室に設置 ・24年度設置校の設計 | ・予定どおり実施 |
| 小中学校の校庭の芝生化 | ・新規6校(計37校)で実施 | ・予定どおり実施 |
| 危機管理体制の強化と施設安全面の検討 | ・東日本大震災を受け、横浜市学校防災計画の見直し(6月)及び施設整備の計画策定(24年3月) | ・予定どおり実施 |
| 校務システムの導入 | ・全小学校へのシステム整備と操作研修の実施(24年3月) | ・全小学校へのシステム整備と操作研修を実施 |
| 学校給食費の公会計化 | ・給食費管理システムの構築と操作研修の実施(24年3月) | ・予定どおり実施 |
| 学校給食調理業務の民間委託 | ・新規10校(計135校)で実施 ・24年度新規民間委託実施校の選定 | ・予定どおり実施 |
| ●通学区域及び学校規模の適正化 | | |
| 学校統合を視野に入れた小規模校対策の推進 | 小規模校対策の本年度対象校について ・保護者説明会の実施(6月) ・検討委員会を対象地域ごとに設置(6~7月) | ・予定どおり実施 |
| 重点施策14 市民の学習活動の支援 | | |
| ●図書館サービスの充実 | | |
| 交通拠点での図書サービス機能強化事業の検討 | ・駅における図書館サービス機能・条件等の基礎調査を実施(12月) | ・予定どおり実施 |

不祥事の防止に向けて

不祥事の根絶を目指して取り組んでいるところですが、残念ながら23年度は、体罰やわいせつ行為、USBメモリの紛失など、個人に起因する不祥事だけではなく、通知票・調査書の誤記載や紛失、給食費の横領など、組織として適正に管理をしていれば起こりえなかった不祥事が続いてしまいました。児童生徒や保護者をはじめとする市民の皆様からの信頼回復に向けて、あらためて一人ひとりが使命を深く理解し、一層強い決意で不祥事の防止に取り組めます。